

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報																			
位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																			
事務事業名	市民コミュニティホール管理経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	7	項	1	目	2	事業	6
担当部	経済環境部	担当課	商工観光課	担当係	商工	係	作成者	直井 道正	内線(電話番号)	2430	シート作成日	H30.6.1	部長決裁日	H30.6.6					
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)				根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 :)										

2 事務事業の目的			当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。		
現状課題	市の指定文化財である旧報徳銀行の維持管理 【現状】市の指定文化財。耐震に問題があるためコミュニティホールとしての利用は行っていない。 【課題】耐震化による活用・移築・廃止等を引き続き検討していく必要がある。		誰・何を対象に	旧報徳銀行	
			どのような方法・手順で	市職員による備品の管理、年2回の消防設備点検	
			望ましい状態	市の指定文化財である旧報徳銀行の維持管理 市の指定文化財としての役割を損なわない方法で、施設の在り方を考える	

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	単位	目標値	目標年次	平成	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	耐震化が必要な施設と判断されたため、市民の利用を停止していることから施設の維持管理費のみを予算化しており、目標値は設定できない。												

4 事務事業の実績 ㊦														当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。													
年度	平成27年度						平成28年度						平成29年度														
	業務名						業務名						業務名														
	活動量						活動量						活動量														
	① 市職員による備品の管理 12回						① 市職員による備品の管理 12回						① 市職員による備品の管理 12回														
	② 業務委託による消防設備点検 2回						② 業務委託による消防設備点検 2回						② 業務委託による消防設備点検 2回														
	③						③						③														
	④						④						④														
	⑤						⑤						⑤														
	⑥						⑥						⑥														
	⑦						⑦						⑦														
	⑧						⑧						⑧														
	⑨						⑨						⑨														
	⑩						⑩						⑩														
⑪						⑪						⑪															
⑫						⑫						⑫															
目標値に対する実績値						目標値に対する実績値						目標値に対する実績値															
決算額	計	72,522	円	内訳	特定財源	円	計	72,515	円	内訳	特定財源	円	計	71,838	円	内訳	特定財源	円									
					一般財源	72,522	円				一般財源	72,515	円				一般財源	71,838	円								
						(住民一人あたりの行政コスト)	1	円				(住民一人あたりの行政コスト)	1	円				(住民一人あたりの行政コスト)	1	円							

5 担当者評価 ㊧			実施したことによる成果や問題点を記入してください。		
成果	目標は設定していない	成果内容	消防設備点検を行い、維持管理を行っている。		
問題点	施設の在り方については、耐震化による活用・移築・廃止等を引き続き検討していく必要がある。				

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨						担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。					
事務事業の方向性						<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止					
評価理由	現在、この施設については、重要プロジェクト「水海道市街地にぎわい再生プロジェクト」において、あり方の方向性について検討しており、その結果が大変重要と考えるが、現時点で、この施設の活用は、安全性の面もあり活用はまったくなく、倉庫代わりになっているような状況である。従って担当課としては、多額な耐震化や移築はせず、廃止・解体したうえで、解体した施設の一部をモニュメントに活用する方法等で、文化財として今後も継承できるようにする。										

7 実施計画 ㊩														今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度						平成31年度						平成32年度														
	事業内容						事業内容						事業内容														
	耐震化が必要な施設であることから、市民への貸し出し等は行っておらず、維持管理のため年2回消防点検のみを行っている。						耐震化が必要な施設であることから、市民への貸し出し等は行っておらず、維持管理のため年2回消防点検のみを行っている。						耐震化が必要な施設であることから、市民への貸し出し等は行っておらず、維持管理のため年2回消防点検のみを行っている。														
予算額	歳出	計	77				千円	歳出	計	77				千円	歳出	計	77				千円						
	歳入	計	77				千円	歳入	計	77				千円	歳入	計	77				千円						

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については平成30年度の一般財源予算額の金額から縮小した金額での予算要求を行うべきである。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。文化財としての価値を考えると当然であり、モニュメントとして活用するというアイデアには賛同できる。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪					
事務事業の方向性					
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止					
評価理由	市の指定文化財であるので、プロジェクトチームでの検討結果や商店街の人たちの意見を反映させた、今後の活用の仕方など、方向性が決定するまでは、現行どおり維持管理していく。				

11 事務事業の改善理由 ㊫						実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。					
事業内容	現行どおり維持管理を行う。あわせて、プロジェクトチームでの検討結果、市民、商店街の方々の意見をお伺いしながら、中心市街地のシンボルとして、今後有効に活用していくための検討を続ける。										